

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	三田福祉ホーム	評価対象年度	令和3年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人ともかわさき ・代表者名 理事長 桑原 賢治 ・住所 川崎市中原区上平間1564-12	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	定員10名／利用者3名(令和4年3月31日時点)		
収支実績	収入 利用料 1,542千円 指定管理委託料 15,015千円 雑収入等 240千円 拠点区分間繰入 18,135千円 合計 34,932千円	支出 人件費 11,446千円 事務費 2,429千円 事業費 2,186千円 拠点区分間繰入 19,342千円 合計 35,402千円	収支差額 -470千円
サービス向上の取組	・グループホームの体験利用など、利用者の意思を尊重しながら、地域移行に向けた支援を実施し、将来の廃止が予定されていることもあり、入居者募集は困難な状況にあるものの、新規入居の1名を含めた入居者3名を受け入れ、利用者の一人ひとりの人権を尊重しながら、安心して利用できる利用者主体の障害者福祉サービスを展開している。		

3. 評価 (評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・長期の利用者に対する自立支援としては、今後の転居を見据えたグループホーム見学を行い、新規の利用者に対する自立支援としては、物的環境の整備として生活に必要な商品の購入に同行したりヘルパー外出を利用した支援を重点的に取り組んでいる。 ・利用者の健康管理として、利用者や相談の下、帰宅後の運動として階段昇降を日々のルーティンとして取り入れ、通院付き添いや日頃からの声掛け支援などを行うことにより、健康改善の成果があげている。 ・居室の清掃や共同生活する上でのマナーや約束事についての声掛けや食堂掲示板やカレンダーなど利用して服薬管理を行い、利用者の生活を整えることで、地域の中で自立した生活が送れることを目的とするホームの役割を果たしている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・経費は概ね予算どおりに執行されている。また、会計手続については法人事務局の経理担当、税理士の協力を得て適正に処理を行っている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	3	3
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・利用者の一人ひとりの人権を尊重しながら、それぞれに適した声掛け支援等をして安心して利用できるサービスを提供し、利用者の希望と将来を見据えた生活の実現に向け健康管理や環境整備の支援できるよう対応に努めている。 ・コロナ禍により会社訪問は1件だったが、相談支援センターなどの関係機関と電話やメールで情報共有を行うとともに、仕事から帰宅した利用者から仕事の悩みなどの話を聞くなどしてコミュニケーションを取り、就労継続に向けた支援を行っている。 ・苦情対応については、苦情受付担当者を生活支援員、苦情解決責任者を施設長として、利用者からの意見や要望を聞き取り迅速に対応し、補助人との毎月1回の面談や支援センターとの定期面談でも要望等があれば適切に聞き取り、重層的な対応を行っている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
(評価の理由) ・避難口や非常灯を随時点検等を行うとともに、事故や急患等の発生時に備えて利用者を含めた緊急連絡体制を整備し、有事の際に備えている。 ・法令遵守のため、法令遵守規定、個人情報取り扱い規定等を整備し、各関係法令等の遵守に取り組んでいる。 ・施設・設備の保守点検を行うとともに、消防設備点検、害虫駆除を実施しました。また、備品や消耗品の不足が生じないように、随時対処している。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	(評価の理由) ・法令に基づき、消防用設備の保守点検を実施した他、効果的な施設の管理運営を実施している。 ・業務日誌を毎日記載し、危険な場所は設備点検や修繕等を行い、施設の適正な維持管理を行った。 ・居室及び共有スペースについて、利用者への声掛けや、必要に応じて職員が一緒に行ったり、仕上げ掃除をしたりすることで清潔な環境を維持している。				

4. その他加点

分類	項目	着眼点	評価点
その他加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか	0
(評価の理由)			

5. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・利用者の健康管理について、規則正しい食生活が送れるよう、病院への付き添いや声掛け等支援を行うことで、健康管理が向上するなど、利用者の個別ニーズに寄り添った適切な事業運営を行っている。
・利用者とのコミュニケーションを重視し、利用者の思いや悩みを受け止め、就労継続支援やサービスの向上に繋げている点は評価できる。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・今後も引き続き、地域移行に伴う利用者へのきめ細やかな支援、また利用者への自立支援等、質の高いサービスの提供に取り組んでいくこと。
・今期での事業終了を見越し、利用者の地域移行を図りながらも、障害者の自立支援という役割を担うべく、支援が必要な方への対応を行う必要がある。